



平成 30 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 s M e d i o  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 本 定 則  
(コード番号：3913 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 室 長 北 埜 弘 剛  
(TEL. 03-6262-8660)

### 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 13 日に公表しました平成 30 年 12 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

|                               | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------------|-------|------|------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                    | 1,134 | 18   | 14   | 6                       | 3.65            |
| 今回修正予想 (B)                    | 990   | △113 | △110 | △105                    | △55.58          |
| 増減額 (B)-(A)                   | △143  | △132 | △124 | △112                    | —               |
| 増減率 (%)                       | △12.6 | —    | —    | —                       | —               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 29 年 12 月期) | 1,056 | △60  | △61  | △141                    | △71.21          |

(注) 平成 30 年 12 月期の通期連結業績予想の 1 株当たり当期純利益は、平成 30 年 1 月から 9 月までの期中平均株式数 1,904,429 株を用いて算定しております。

#### 2. 業績予想修正の理由

(連結売上高)

下記要因を反映し、平成 30 年 12 月期の通期連結売上高は 990 百万円となる見込みであります。

- ・期待していた開発案件の失注 (約 80 百万円)
- ・開発案件の納品・検収の翌期 (平成 31 年) への繰越 (約 30 百万円)

- ・ロイヤリティ収入の減少（約 30 百万円）

（連結営業利益）

下記要因を反映し、平成 30 年 12 月期の通期連結営業損益は 113 百万円の損失となる見込みであります。

- ・連結売上高の減少
- ・複数の開発案件において、開発工数が想定を上回ったことによる収益悪化
- ・初期開発に関する開発案件において、想定以上の開発原価が生じ、粗利益が赤字となる案件が発生した影響(\*1)

\*1 当社は、初期開発後、当社のソフトウェアが搭載された機器が出荷される段階（開発完了後、概ね半年から 1 年後）で、ロイヤリティ収入を得るため、製品全体のライフサイクルでの黒字確保を前提に、例外的に、粗利益の赤字を覚悟して、初期開発を進めることがあります。

（連結経常利益）

連結営業利益と同じ要因により、平成 30 年 12 月期の通期連結経常損益は 110 百万円の損失となる見込みであります。

（親会社株主に帰属する当期純利益）

連結営業利益と同じ要因により、税金等調整前当期純損失となることを見込んでおり、その結果、平成 30 年 12 月期の通期の親会社株主に帰属する当期純損益は、105 百万円の損失となる見込みであります。

（為替前提）

第 4 四半期連結会計期間における為替水準は、下表のように想定しております。

なお、前回の平成 30 年 12 月期の通期連結業績予想公表時（平成 30 年 2 月 13 日）の想定為替水準から変更はありません。

|               | 米ドル      | 中国・人民元  |
|---------------|----------|---------|
| 第 4 四半期連結会計期間 | 112.00 円 | 17.00 円 |

（注）上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以 上